

1月 ふれあい



浜松市竜川ふれあいセンター活動推進委員会・浜松市
浜松市天竜区横山町772-1 電話 923-0004 1月5日発行

《竜川ふれあいセンター》 《1/5～2/4の活動予定》

※12月20日現在の予定です。日程が
変更になる場合 あります。
ご了承ください。

【催しなど】

- 寝ころビクス教室
1月13日(火) 10:00～
- フラワーアレンジメント
1月27日(火) 10:00～

ハンドメイドサークル ciao
1月14日(水) 19:00～21:00

【地域活動団体等の予定】

健康吹き矢同好会 会議室 10:00～12:00	1月9、16日
竜川囲碁同好会 会議室 9:00～12:00	1月7、14、 21、28日
竜川氣功同好会 ホール 10:00～11:30	1月7、21、 28日
ほのぼの会給食サービス	1月20日 13:00～16:00

1月の主な行事

元旦 [祝日]	1日(木)
官公庁御用始め	5日(月)
七草	7日(水)
110番の日	10日(土)
鏡開き・蔵開き	11日(日)
成人の日[祝日]	12日(月)
全国緑化キャンペーン	15日(木)
防災とボランティアの日	17日(土)
大寒	20日(火)
文化財防火デー	26日(月)
国旗制定記念日	27日(火)

謹賀新年

本年もよろしくお願ひいたします。

2026年 元旦 竜川ふれあいセンター



年頭のごあいさつ

「今年も、明るい笑顔で・・・」

竜川ふれあいセンター活動推進委員会
委員長 溝口 玄

新年あけましておめでとうございます。
昨年も竜川ふれあいセンターの様々な活動に、御理解と御協力を
賜り、心より感謝申し上げます。
皆様にとりまして、本年が平穏で実り多い年になりますよう祈念
いたします。

昨年も恒例の「2025年 新語・流行語大賞」の発表がありました。
「緊急統獣／熊被害」「古古古米」「国宝（観た）」「二季」「卒業
証書19・2秒」「物価高」等々は、昨年よく耳にした言葉ですが、
新語・流行語としてノミネートされた二十の言葉の内、「エッホエッ
ホ」「チャッピー」「ビジュイイじやん」「ラブ」など、半分近く
は多かったのではないか。仕事つてそういうものだつたなど」とも
言つていきました。そういえば、今から四十年近く前、前の流行語に「二十
四時間戦えますか」という某栄養ドリンクのキャッチコピーがあつた
ことを思い出しました。あの頃は、みんな頑張っていましたね。
さて、昨年の竜川地区ですが、若い人たちを中心に「盆踊り」や
「お祭り」、「ハロウイン」などが様々な工夫を凝らして行われ、着
実に新しい地域行事として定着してきていると感じました。
五月に行われた横山小学校の「運動会」での子供たちの頑張りと笑
顔、中学生や地域の人たちとの交流も素敵でした。また、恒例の「た
つかわ山の幸物産展」も天候に恵まれ賑やかに行われ、地域の活気を
感じました。
三月には、「竜川ふれあいセンターまつり」の開催を予定していま
す。昨年以上に楽しい一日になるよう準備を進めておりますので、
皆様の御理解と御協力をお願ひいたします。
今年も多くの皆様に竜川ふれあいセンターを御利用いただき、様々
な活動を通して、明るい笑顔で、元気にお互いの交流を深めていただ
たら幸いです。

中山間地域の愛称投票のお願いについて

この度、浜松市の中山間地域について、地域のイメージに合い、親しみやすさにつながる「愛称」を定めることとしました。

愛称の候補については、令和7年5月15日から7月31日にかけて募集し、市内外から695点もの応募がありました！

愛称は、皆さんの投票で決定します。ご応募いただいた695点の中から選考された5点のうち、中山間地域のイメージに合うもの、中山間地域をより身近に感じられるもの「1つ」に投票をお願いします！

※中山間地域：天竜区及び浜名区引佐町北部

愛称候補 **・いなてん** **・オクハマ**
・サトハマ **・はまさと** **・はまのもり**



投票期間：令和7年12月19日（金）～令和8年1月20日（火）

投票方法：URL: <https://logoform.jp/form/Savd/1323796>

凍結防止剤をご利用ください！

ふれあいセンター正面入り口横に、「**凍結防止剤**」を用意しましたのでご利用ください。

土曜・日曜・夜間など、センター職員が不在の場合でも必要に応じて搬出をお願いします。

凍結した道の運転には、十分注意してください！



新春餅つき大会を開催します。

日時：1月11日（日）午前10時～（予定）

場所：竜川ふれあいセンター

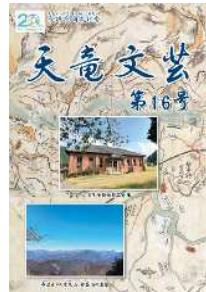
参加：自由参加

主催：チーム村田

★みんな来てね！



天竜文芸第16号



創作・評論・自然・歴史・文化、随筆、詩、短歌、俳句、川柳といった多彩なジャンルを楽しんでみませんか？

日々の暮らしの描写から、知られざる天竜区の魅力まで、ぜひ「天竜文芸」の世界に触れてみてください！

発売開始：令和7年12月19日（金）

価格：500円

【販売場所】

天竜区まちづくり推進課 (TEL922-0086)

龍山森林文化会館 (TEL968-0331)

佐久間支所 (TEL966-0006)

水窪文化会館 (TEL982-0013)

春野文化センター (TEL989-0200)

竜川ふれあいセンター (TEL923-0004)

しかし、人情というものは、妙な所へ意地を張るもので、「止める」といえば「やりたい」もので、見聞きを止められれば、止められる程見聞きしたいもので、「そんな事で病気などになるものか、一つ己れが試してみよう」という命知らずの者が出てくるもので、そこへ罠（まかり）出たのは、この渕の下に金山と称する銅鉱の採掘している所の一抗夫が漁をしようとして「ダインマイド」をこの渕に投げ入れた。魚の群れは、不意の襲撃に樂天地の夢はこわされ、浮びつ、沈みつ、苦しみを訴えると、彼の抗夫得たりと網で捕る、手で捕えて多数の獲物にほくそ笑み乍（ながら）帰宅して晚酌も何時もよりはずんで舌鼓を打ちながら得意顔になつていたが何事もない。

「それみた事か」とい乍ら寝に就いた。が、不思議や、その夜更けから、抗夫の愛しき一人娘が、あらぬ事を口ばしり乍ら苦悶はじめとうとう翌日の朝に死んでしまつた。これは、竜神の祟りであると、娘の母はなげき悲しんで、村人達に話してこの土地を去つていった。

しかし、人情というものは、妙な所へ意地を張るもので、「止める」といえば「やりたい」もので、見聞きを止められれば、止められる程見聞きしたいもので、「そんな事で病気などになるものか、一つ己れが試してみよう」という命知らずの者が出てくるもので、そこへ罠（まかり）出たのは、この渕の下に金山と称する銅鉱の採掘している所の一抗夫が漁をしようとして「ダインマイド」をこの渕に投げ入れた。魚の群れは、不意の襲撃に樂天地の夢はこわされ、浮びつ、沈みつ、苦しみを訴えると、彼の抗夫得たりと網で捕る、手で捕えて多数の獲物にほくそ笑み乍（ながら）帰宅して晚酌も何時もよりはずんで舌鼓を打ちながら得意顔になつていたが何事もない。

「それみた事か」とい乍ら寝に就いた。が、不思議や、その夜更けから、抗夫の愛しき一人娘が、あらぬ事を口ばしり乍ら苦悶はじめとうとう翌日の朝に死んでしまつた。これは、竜神の祟りであると、娘の母はなげき悲しんで、村人達に話してこの土地を去つていった。

しかし、人情というものは、妙な所へ意地を張るもので、「止める」といえば「やりたい」もので、見聞きを止められれば、止められる程見聞きしたいもので、「そんな事で病気などになるものか、一つ己れが試してみよう」という命知らずの者が出てくるもので、そこへ罠（まかり）出たのは、この渕の下に金山と称する銅鉱の採掘している所の一抗夫が漁をしようとして「ダインマイド」をこの渕に投げ入れた。魚の群れは、不意の襲撃に樂天地の夢はこわされ、浮びつ、沈みつ、苦しみを訴えると、彼の抗夫得たりと網で捕る、手で捕えて多数の獲物にほくそ笑み乍（ながら）帰宅して晚酌も何時もよりはずんで舌鼓を打ちながら得意顔になつていたが何事もない。

「それみた事か」とい乍ら寝に就いた。が、不思議や、その夜更けから、抗夫の愛しき一人娘が、あらぬ事を口ばしり乍ら苦悶はじめとうとう翌日の朝に死んでしまつた。これは、竜神の祟りであると、娘の母はなげき悲しんで、村人達に話してこの土地を去つていった。



東雲名から北へ500mほどの所にある大きな岩石の下に、渕は存在していました。とても驚きです。（R7. 10. 28撮影）

竜川ふれあいセンターでの佐久間病院による巡回診療事業の開催日について

【診療時間】毎月、第3水曜日の14:00～16:00 ★1月は、21日（水）です。

事前予約（佐久間病院 ☎965-0054）が必要となります。

※問合せ先：佐久間病院

○竜川の伝説第十七回は、ふちがん淵の由来（2—2）です。

（1—2）は十一月号に掲載しています。